

【NFC オプティマイザー】 アプリ連携機能 概略書



ODS

Ver.1.0

本アプリの基本情報

当社が開発したアプリ【NFC オプティマイザー】は、NFC カード/タグに「カード情報」(カードの名前、機能、グループ)を登録することで、お客様のアプリ (以下「クライアントアプリ」と呼称) と連携し、タブレットの管理ツールとして日々の運用の省力化をサポートします。

例えばキオスクモードで運用しているタブレットから設定画面に入るには、従来は「画面上の特定の位置を5回タップしてから暗証番号を入力」など面倒な操作を必要としていた場合でも、登録済カードをタッチするだけで実現でき、現場の手間を省くと同時に、いたずら防止にも役立ちます。

■「カード情報」(NFC カードの登録情報) について

本アプリのカード情報には以下の3項目があり、「機能」「グループ」のいずれかは登録必須です。

- ・「カードの名前」: カードの識別用名称 (任意)
- ・「機能」: プリセット機能(下記参照)のうち、実行したいご所望の1機能を選択
- ・「グループ」: アプリ連携のための管理用のグループコード[A~Z]

※カード情報はカード内に書き込むのではなく、カード固有のID情報に紐づけて本アプリ内に保存されます。

■「カードの名前」について

お客様が任意で付与する名称です。

■「機能」(プリセット機能) について

本アプリ内のプリセット機能には以下の6項目があります。未選択とすることも可能です。

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| ① タブレットの電源 OFF | ④ USB Type A ポート ON/OFF |
| ② タブレットの再起動 | ⑤ タッチパネル ON/OFF |
| ③ システムバー ON/OFF | ⑥ ディスプレイ ON/OFF |

上記のプリセット機能だけを使用するのであれば、クライアントアプリ側の連携ソフトは不要です。

■「グループ」情報について

グループ情報は、NFC カードを使用して、お客様が独自で実行したい動作を補助する設定です。クライアントアプリに連携ソフトを埋め込む必要がありますが、登録済みのカードを読み取ると、本アプリはクライアントアプリにカード情報を引き渡し、お客様がグループ毎に割り振った特定の状態で自動で遷移させることができます。グループコードは[A~Z]を用意しています。

「機能 (プリセット機能)」と同時発動させることも可能 (後述、方式 A のみ) です。

■飲食店の注文端末の連携例（後述「連携方式 A」を使用）

- ①【NFC オプティマイザー】にて各カードに対し、グループ“A”は店長専用、グループ“B”はスタッフ用として登録します。また、プリセット機能として「システムバーON/OFF」を登録します。
- ②お客様の注文端末用アプリには、グループ“A”（店長）を検知すると売上確認画面へ、“B”（スタッフ）ならば一般管理画面へ切り替え、再度同じカードを検知したら注文画面に戻す、という命令を仕込みます。
- ③飲食店の現場では、①で登録されたカードがタッチされると、キオスクモード（注文画面）の状態からシステムバーが復帰すると同時に、グループ情報に応じた画面に遷移させることができます。再度同じカードをタッチすることで、注文画面に戻せます。
- ④複数の端末を使用する際は、カード情報の一括コピー機能(json ファイル形式)がご利用いただけます。



クライアントアプリの開発サポート

当社では【NFC オプティマイザー】（本アプリ）とお客様が用意されるアプリ（クライアントアプリ）とのアプリ連携方法（コーディング）に関する技術資料を用意しております。

対象者 【NFC オプティマイザー】とのアプリ連携を実装するアプリケーション開発者
開発環境 IDE：Android studio / 言語：kotlin

アプリ連携には、2種の方式(A,B)があります。主な違いは以下をご参照ください。

	方式 A（当社推奨）	方式 B
プリセット機能	使用可	使用不可
グループ設定連携	使用可	使用可
カードの読込※	ジャミング読込は不可	ジャミング読込可
クライアントアプリのライフサイクル (処理プロセス)	一時的にバックグラウンド処理になる	フォアグラウンドのまま実行可能

※カードのジャミング読込について

クライアントアプリにて、サービス利用者（顧客など）の NFC カードと、本アプリにて登録されたカード（管理用カードなど）のどちらも同時に識別できる状態を指します。

例えば、タッチ決済の読込待ち画面の状態でも管理用カードを識別したい場合は方式 B しか対応できませんが、同時に識別する必要がなければ方式 A を採用されることをお勧めします。

上記よりアプリ連携のイメージができましたら、<https://biz.ods.co.jp/contact.php> よりお問合せください。当社より折り返しご連絡をさせていただきます。